

# デーヴォ ガイド



**2023.5.22-28**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

20:14 シェバはイスラエルの全部族のうちを  
通って、アベル・ベテ・マアカへ行った。  
すべてのベリ人が集まって来て、彼に従った。

20:15 人々はアベル・ベテ・マアカに来て、  
彼を包囲し、この町に向かって壘を築いた。  
それは外壁に向かって立てられた。ヨアブに  
つく兵はみな、城壁を破壊して倒そうとして  
いた。

20:16 この町から、一人の知恵のある女が叫  
んだ。「聞いてください。聞いてください。  
ヨアブにこう言ってください。『ここまで近  
づくいてください。あなたにお話したいので  
す。』」

20:17 ヨアブが彼女の方に近づくと、この女  
は言った。「あなたがヨアブですか。」彼は  
言った。「そうだ。」女は言った。「このは  
しためのことを聞いてください。」彼は  
言った。「よし、聞こう。」

20:18 女は言った。「昔、人々は『アベルで  
尋ねよ』と言って、事を決めました。

20:19 私は、イスラエルのうちで平和な、忠  
実な者の一人です。あなたは、イスラエルの  
母である町を滅ぼそうとしておられます。あ  
なたはなぜ、【主】のゆずりの地を、?み尽  
くそうとされるのですか。」

20:20 ヨアブは答えて言った。「とんでもな  
い。?み尽くしたり滅ぼしたりするなど、と  
んでもないことだ。

20:21 そうではない。実はビクリの息子で、  
その名をシェバというエフライムの山地の出  
である男が、ダビデ王に手向かったのだ。こ  
の男だけを引き渡してくれたら、私はこの町  
から引き揚げよう。」女はヨアブに言った。

「では、その男の首を城壁の上からあなた  
のところに投げ落としてごらんに入れま  
す。」

20:22 この女は知恵を用いて、民全員のと  
ころに行った。それで彼らはビクリの子シェ  
バの首をはね、それをヨアブのもとに投げ  
た。ヨアブは角笛を吹き鳴らし、人々は町  
から散って行き、それぞれ自分の天幕に  
帰った。ヨアブはエルサレムの王のとこ  
ろに戻った。

20:23 さて、ヨアブはイスラエルの全軍の長  
であった。エホヤダの子ベナヤはクレタ人  
とベレテ人の長、

20:24 アドラムは役務長官、アヒルデの子ヨ  
シャファテは史官、

20:25 シェワは書記、ツアドクとエブヤタル  
は祭司、

20:26 ヤイル人イラムもダビデの祭司であった。

ダビデとその部下たち、また反逆者も政治的  
人間的な方策に没頭しているような今、この女は  
「知恵のある女」と呼ばれ、政治的野心とは別次  
元の価値観で登場します。すなわち「主のゆず  
りの地」であるアベルの町を守ろうとする真剣な  
思いです。

そしてその思いがあるとき、政治に関しては疎  
かった彼女も、この戦いは行き当たりばったりの  
もので、ヨアブは成り行き上町全体を攻めている  
のだということがわかったのです。

主を第一にする信仰から生まれた思いと、主か  
らの知恵はこの世のあらゆる権威よりも、主に役  
立つのです。

ダビデがヨアブなど部下たちを任命して組織を  
再編成したことと対比をなすのが、この女の行動  
です。どちらも主のみこころに叶うようにしな  
ければなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた  
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 23日 火曜

### Ⅱ サムエル

21:1 ダビデの時代に、三年間引き続いて飢饉が起こった。それで、ダビデは【主】の御顔を求めた。【主】は言われた。「サウルとその一族に、血の責任がある。彼がギブオンたちを殺戮したからだ。」

21:2 王はギブオンたちを呼び出し、彼らに話した。このギブオンの人たちは、イスラエル人ではなくアモリ人の生き残りで、イスラエル人は彼らと盟約を結んでいた。だが、サウルはイスラエルとユダの人々への熱心のあまり、彼らを討とうとしたのである。

21:3 ダビデはギブオンたちに言った。「あなたがたのために、私は何をすべきであろうか。私が何をもちて宥めを行ったら、【主】のゆずりの地が祝福されるだろうか。」

21:4 ギブオンたちは彼に言った。「私たちと、サウルおよびその一族との間の問題は、銀や金のことではありません。また、私たちがイスラエルのうちで人を殺すことでもありません。」ダビデは言った。「私があなたがたに何をしたらよいと思うのか。」

21:5 彼らは王に言った。「私たちが絶ち滅ぼそうとした者、私たちが根絶やしにしてイスラエルの領土のどこにも、いさせないように企んだ者、

21:6 その者の息子の七人を私たちに引き渡してください。私たちは【主】が選ばれたサウルのギブアで、【主】のために彼らをさらし者にします。」王は言った。「引き渡そう。」

21:7 王は、サウルの子ヨナタンの子メフィボシエテを惜しんだ。それは、ダビデとサウルの子ヨナタンの間で【主】に誓った誓いのた

めであった。

21:8 王は、アヤの娘リツパがサウルに産んだ二人の息子アルモニとメフィボシエテ、それに、サウルの娘メラブがメホラ人バルジライの息子アデリエルに産んだ五人の息子を取って、

21:9 彼らをギブオン人の手に渡した。彼らは、この者たちを山の上で【主】の前に、さらし者にした。これら七人は一緒に倒れた。彼らは、刈り入れ時の初め、大麦の刈り入れの始まったころ殺された。

21:10 アヤの娘リツパは、粗布を手を取って、それを岩の上に敷いて座り、刈り入れの始まりから雨が天から彼らの上に降るときまで、昼には空の鳥が、夜には野の獣が死体に近寄らないようにした。

21:11 サウルの側女アヤの娘リツパのしたことはダビデに知らされた。

21:12 ダビデは行って、サウルの骨とその息子ヨナタンの骨を、ヤベシュ・ギルアデの者たちのところから持って来た。これは、ペリシテ人がサウルをギルボアで討った日に、二人をさらし者にしたベテ・シャンの広場から、ヤベシュ・ギルアデの者たちが盗んで行ったものであった。

21:13 ダビデはサウルの骨とその息子ヨナタンの骨をそこから携えて上った。人々は、さらし者にされた者たちの骨を集めた。

21:14 彼らはサウルとその息子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のツェラにあるサウルの父キシユの墓に葬り、すべて王が命じたとおりにした。その後、神はこの国の祈りに心を動かされた。



ないことがあるのではないかと、主に伺ったのは良いことでした。私たちは苦しみにある人を、罪があるからだと言え付けることは間違いですが、しかし自分自身に関しては、もしかしら罪があるのかもしれないと、考えてみるのは良いことです。

しかしながら、ダビデは主に伺っておきながら、その具体的な行動においては神様に聞かず、ギブオンの人たちの言いなりになってしまいました。それで7人もの命を犠牲にしまったのです。ヨナタンの子であるメフィボシエテは「惜しんだ」のですから、それがどんなに残酷なことであるかは分ってはいけません。

主に聞くことは単に教えられたとか、心が満たされた、恵まれたという内面的なことだけではありません。具体的な行動も聞いて従わなければならないのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

飢饉という苦しみの中で、何かみこころに沿わ



## 24日 水曜

### Ⅱサムエル

21:15 ペリシテ人が再びイスラエルに戦いを仕掛けたことがあった。ダビデは自分の家来たちを連れて下り、ペリシテ人と戦ったが、ダビデは疲れていた。

21:16 ラファの子孫の一人であったイシュビ・ベノブは、「ダビデを討つ」と言った。彼の槍の重さは青銅で三百シェケル。そして彼は新しい剣を帯びていた。

21:17 ツェルヤの子アビシャイはダビデを助け、このペリシテ人を打ち殺した。そのとき、ダビデの部下たちは彼に誓って言った。「あなたは、もうこれから、われわれと一緒に戦いに出ないでください。あなたがイスラエルのともしびを消さないために。」

21:18 その後のこと、ゴブで再びペリシテ人との戦いがあった。そのとき、フシャ人シベカイは、ラファの子孫のサフを打ち殺した。

21:19 ゴブでペリシテ人との戦いが再びあったとき、ベツレヘム人ヤイルの子エルハナンは、ガテ人ゴリヤテを打ち殺した。ゴリヤテの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

21:20 再びガテで戦いがあったとき、手の指、足の指が六本ずつで、合計二十四本指の闘士がいた。彼もラファの子孫であった。

21:21 彼はイスラエルをそしたが、ダビデの兄弟シムアの子ヨナタンが彼を打ち殺した。

21:22 これら四人はガテのラファの子孫で、ダビデとその家来たちの手にかかって倒れた。

新改訳2017 サブ聖書ウインドウ No.1

### Ⅱサム

21:15 ペリシテ人が再びイスラエルに戦いを仕掛けたことがあった。ダビデは自分の家来たちを連れて下り、ペリシテ人と戦ったが、



ダビデは疲れていた。

21:16 ラファの子孫の一人であったイシュビ・ベノブは、「ダビデを討つ」と言った。彼の槍の重さは青銅で三百シェケル。そして彼は新しい剣を帯びていた。

21:17 ツェルヤの子アビシャイはダビデを助け、このペリシテ人を打ち殺した。そのとき、ダビデの部下たちは彼に誓って言った。

「あなたは、もうこれから、われわれと一緒に戦いに出ないでください。あなたがイスラエルのともしびを消さないために。」

21:18 その後のこと、ゴブで再びペリシテ人との戦いがあった。そのとき、フシャ人シベカイは、ラファの子孫のサフを打ち殺した。

21:19 ゴブでペリシテ人との戦いが再びあったとき、ベツレヘム人ヤイルの子エルハナンは、ガテ人ゴリヤテを打ち殺した。ゴリヤテの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

21:20 再びガテで戦いがあったとき、手の指、足の指が六本ずつで、合計二十四本指の闘士がいた。彼もラファの子孫であった。

21:21 彼はイスラエルをそしたが、ダビデの兄弟シムアの子ヨナタンが彼を打ち殺した。

21:22 これら四人はガテのラファの子孫で、ダビデとその家来たちの手にかかって倒れた。

ペリシテ人が攻めてきましたが、イスラエルはそれを撃破しました。それがゴリヤテを思わせるつわものでも、神様はイスラエルに勝利をあたえられました。それは「神はこの国の祈りに心を動かされた。」ということと無関係ではないでしょ

う。

そしてそれは人々がサウルとヨナタン、さらには殺された人々の骨を集めて手厚く墓に葬ったことであり、そのきっかけはリツパの行動でした。

彼女は大自分だけが理不尽な悲しみの中にあつたのですが、そのような弱い立場の者でも、真摯に真心から行動するなら、主はそれをも用いてくださることが分ります。どんなに悲しみの中にあつても主は見てくださり、そのような者の人生を価値あるものとしてくださる主の不思議に期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



## 25日 木曜

### Ⅱ サムエル



22:1 【主】がダビデを、すべての敵の手、特にサウルの手から救い出された日に、彼はこの歌のこぼを【主】に歌った。

22:2 彼は言った。

「【主】よ、わが巖、わが砦、わが救い主よ、

22:3 身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、

わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、わ

が救い主、あなたは私を暴虐から救われます。

22:4 ほめたたえられる方、この【主】を呼び

求めると、私は敵から救われる。

22:5 死の波は私を取り巻き、滅びの激流は私

をおびえさせた。

22:6 よみの綱は私を取り囲み、死の畏は私に

立ち向かった。

22:7 私は苦しみの中で【主】を呼び求め、わ

が神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、

私の叫びは御耳に届いた。

22:8 地は揺るぎ、動いた。天の基も震え、

揺れた。主が怒られたからだ。

22:9 煙は鼻から立ち上り、その口から出る火

は貪り食い、炭火は主から燃え上がった。

22:10 主は、天を押し曲げて降りて来られた。

黒雲をその足の下にして。

22:11 主は、ケルビムに乗って飛び、風の翼

の上に自らを現された。

22:12 主は、闇をご自分の周りで仮庵とされ

た。水の集まり、濃い雲を。

22:13 御前の輝きから、炭火が燃え上がった。

22:14 【主】は天から雷鳴を響かせ、いと高

き方は御声を発せられた。

22:15 主は矢を放って、彼らを散らし、稲妻

を放って、かき乱された。

22:16 こうして、海の底が現れ、地の基があ

らわにされた。【主】のとがめにより、その鼻の荒い息吹によって。

ダビデの主への信頼がいかに堅固なものであったかが分かります。この表現は誰に聞かせるでもなく、ただ自分自身の実感であり、歌わずにはいられなかった心からのものだったでしょう。私たちもまた主への信頼を表現するものでありたいと思います。

ダビデは竖琴の賜物が与えられていました。私たちも何らかの賛美の賜物や方法があるでしょう。それで主への信頼を表しましょう。それは信仰の告白になり、その信仰を通りになるようにと主はみわざを行ってください。

ダビデがこのように主に信頼できたのは、数々の苦難があったからです。そこで主のみわざを体験したのです。私たちの苦難は、信仰の成長のためであることを知りましょう。そして人々を励ます者ともなるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 26日 金曜

### Ⅱ サムエル



22:17 主は、高い所から御手を伸ばして私を捕らえ、大水から、私を引き上げられました。

22:18 主は、力ある敵から私を救い出されました。私を憎む者どもからも。彼らは私より強かったのです。

22:19 私のわざわいの日に彼らは立ちはだかりました。けれども、【主】は私の支えとなりました。

22:20 主は私を広いところに連れ出し、私を助け出されました。主が私を喜びとされたからです。

22:21 【主】は、私の義にしたがって私に報い、手のきよさにしたがって顧みてくださいました。

22:22 私は【主】の道を守り、私の神に対して悪を行いませんでした。

22:23 主のすべてのさばきは私の前にあり、主の掟から、私は遠ざかりませんでした。

22:24 私は主に対して全き者。自分の咎から身を守ります。

22:25 【主】は私の義にしたがって顧みてくださいました。御目の前の、私のきよさにしたがって。

22:26 あなたは、恵み深い者には恵み深く、全き者には全き方。

22:27 清い者には清く、曲がった者にはねじ曲げる方。

22:28 苦しむ民を、あなたは救われますが、御目を高ぶる者に向け、これを低くされます。

ダビデは主への信頼を歌にしますが、ここでは主の大きいみわざを、自然界にも見出しています。前節から続いて、そのような力ある主が、個人であ

る自分自身をも救ってくださったというのです。

イスラエルでは「大水から、引き上げられました。」という、それは出エジプトの紅海徒渉を意味します。ダビデは歴史に働かれる偉大な主をも賛美しているのであり、その偉大な主が個人的に自分を救う方であることを告白しているのです。

そして主はその正義のゆえにも救ってくださるということも告白しています。このように、主がいかに偉大なかたであるかという認識、驚き、讃えは、私たちの信仰を大きくします。その信仰のゆえに主に信頼し、従い、私たちは勝利を得ることができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 27日 土曜

### Ⅱ サムエル

22:29 【主】よ、まことにあなたは私のともしび。【主】は私の闇を照らされます。  
22:30 あなたによって、私は防塞を突き破り、私の神によって、城壁を跳び越えます。  
22:31 神、その道は完全。【主】のことは純粹。主は、すべて主に身を避ける者の盾。  
22:32 【主】のほかには、だれが神でしょうか。私たちの神のほかには、だれが岩でしょうか。  
22:33 神は私の力強い砦。私の道を全きものとされます。  
22:34 主は、私の足を雌鹿のようにし、高い所に立たせてください。  
22:35 戦いのために私の手を鍛え、腕が青銅の弓も引けるようにされます。  
22:36 あなたは御救いの盾を私に下さいます。あなたの謙遜は私を大きくします。  
22:37 あなたは私の歩みを広げられ、私のくるぶしはゆるみません。  
22:38 私は、敵を追ってこれを根絶やしにし、絶ち滅ぼすまでは引き返しませんでした。  
22:39 私が彼らを絶ち滅ぼし、打ち砕いたので、彼らは立てず、私の足もとに倒れました。  
22:40 あなたは、戦いのために私に力を帯びさせ、向かい立つ者を、私のもとにひれ伏させました。  
22:41 あなたは、敵が、私を憎む子どもが私に背を見せるようにされました。私は彼らを滅ぼしました。  
22:42 彼らが【主】に目を留めても、救う者はなく、答えもありませんでした。  
22:43 地のちりのように、私は彼らを打ち砕き、道の泥のように、粉々に砕いて踏みつけました。



22:44 あなたは、民の争いから私を助け出し、国々のかしらとして保たれました。私の知らなかった民が私に仕えます。  
22:45 異国の人々は私にへつらい、耳で聞くはず、私に聞き従います。  
22:46 異国の人々は打ちしおれ、砦から震えて出て来ます。  
22:47 【主】は生きておられる。ほむべきかな、わが岩。あがむべきかな、わが救いの岩なる神。  
22:48 この神は私のために、復讐する方。諸国の民を私のもとに下らせる方。  
22:49 神は、敵から私を携え出される方。あなたは、向かい立つ者から私を引き上げ、不法を行う者から私を救い出してください。  
22:50 それゆえ、【主】よ、私は国々の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います。  
22:51 主は、ご自分の王に救いを増し加え、主に油注がれた者ダビデとその裔に、とこしえに恵みを施されます。」

戦士としてのダビデの歌です。戦いというのはクリスチャンに相応しくないイメージがあるかも知れませんが、そうではありません。人に危害を与えるような戦いはしませんが、愛によって人を幸いに導くために、私たちは戦います。成功を勝ち取るのです。

当然、ダビデは目に見える現実の敵と戦いましたが、その力は見えない神であったことが分かります。神様は最終的には圧倒的な勝利を与えてくださるということです。ダビデも苦難の連続でしたが、このように人生を振り返ることができたのです。私たちも信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23:1 これはダビデの最後のことばである。エッサイの子ダビデの告げたことば。いと高き方によって上げられた者、ヤコブの神に油注がれた者の告げたことば。イスラエルの歌の歌い手。

23:2 「【主】の霊は私を通して語り、そのことばは私の舌の上にある。

23:3 イスラエルの神は仰せられた。イスラエルの岩は私に語られた。『義をもって人を治める者、神を恐れて治める者。

23:4 その者は、太陽が昇る朝の光、雲一つない朝の光のようだ。雨の後に、地の若草を照らす光のようだ。』

23:5 まことに私の家は、このように神とともにある。神が永遠の契約を私と立てられたからだ。それは、すべてのことにおいて備えられ、また守られる。神は、私の救いと願いを、すべて育んでくださるではないか。

23:6 よこしまな者たちはみな、根こそぎにされた茨のようだ。それらは手に取ることができない。

23:7 彼らを打つ者はだれも、槍の刃や柄で武装する。彼らはその場で、火で焼き尽くされる。」

23:8 ダビデの勇士たちの名は次のとおりである。補佐官のかしら、タハクモ二人ヨシエブ・バシエベテ。彼は槍を振るって一度に八百人を刺し殺した。

23:9 彼の次は、アホアハ人ドドの子エルアサル。ダビデにつく三勇士の一人であった。彼らがペリシテ人をそいったとき、ペリシテ人は戦うためにそこに集まった。イスラエル人は退いたが、

23:10 彼は立ち上がり、自分の手が疲れて、手が剣にくつつくまでにペリシテ人を討った。【主】はその日、大勝利をもたらされた。兵たちが彼のところに引き返して来たのは、ただ、はぎ取るためであった。

23:11 彼の次はアルル人アゲの子シャンマ。ペリシテ人が隊をなして集まったとき、そこにはレンズ豆が豊かに実った一つの畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げたが、

23:12 彼はその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。【主】は大勝利をもたらされた。

ダビデの王としての勝利は自分の力ではなく、主の力であったことが、ここでも強調されています。ダビデは自分のなきあとも王国が安泰であることを願いましたが、それは国力によるよりも、神への信仰によるのだと知っていたからです。

ですからこの三勇士も、主を立ててくださったことが分かります。彼らはダビデのためというよりも主のために戦ったのです。教会でも個人でも、人を愛して協力することはすばらしいことですが、人しか見えていないと、そのあり方がずれてゆきます。神様のご計画と価値観のためにという目的を第一にしましょう。そうすれば、愛の神様も人をも愛し協力するように導いてくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

